

高・大・一般 漢字(楷書B)

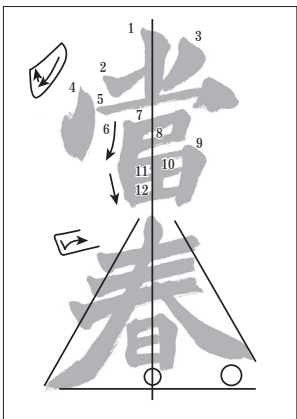
※楷書A、Bは段級をとわず両方出品も可。

宮澤 鷺州

張猛龍碑
ちやうもうりやうひ
張猛龍碑 ②



〈読み〉春に当たり
當(当)春



〈解説〉

「張猛龍碑」は五五二年、魯郡太守であった張猛龍の徳を讃えるために建てられました。一一〇七字にも及ぶ長文の碑です。

残念ながら筆者の名が刻されていませんが、「龍門造像記」の書風を受け、力強い筆力や右上がりの強い躍動感に富む北魏を代表する楷書の一つです。

字形は造像記よりも整いを見せていますが、用筆や字形のとり方は一定の法則性が未定のためか、同一文字でありながら文字ごとに書き方が異なる場合があります。後の隋や初唐の楷書ほど斉整ではなく、筆勢や点画の強調などによって均衡を図る造形で、それがまた本碑の魅力にもなっているのです。

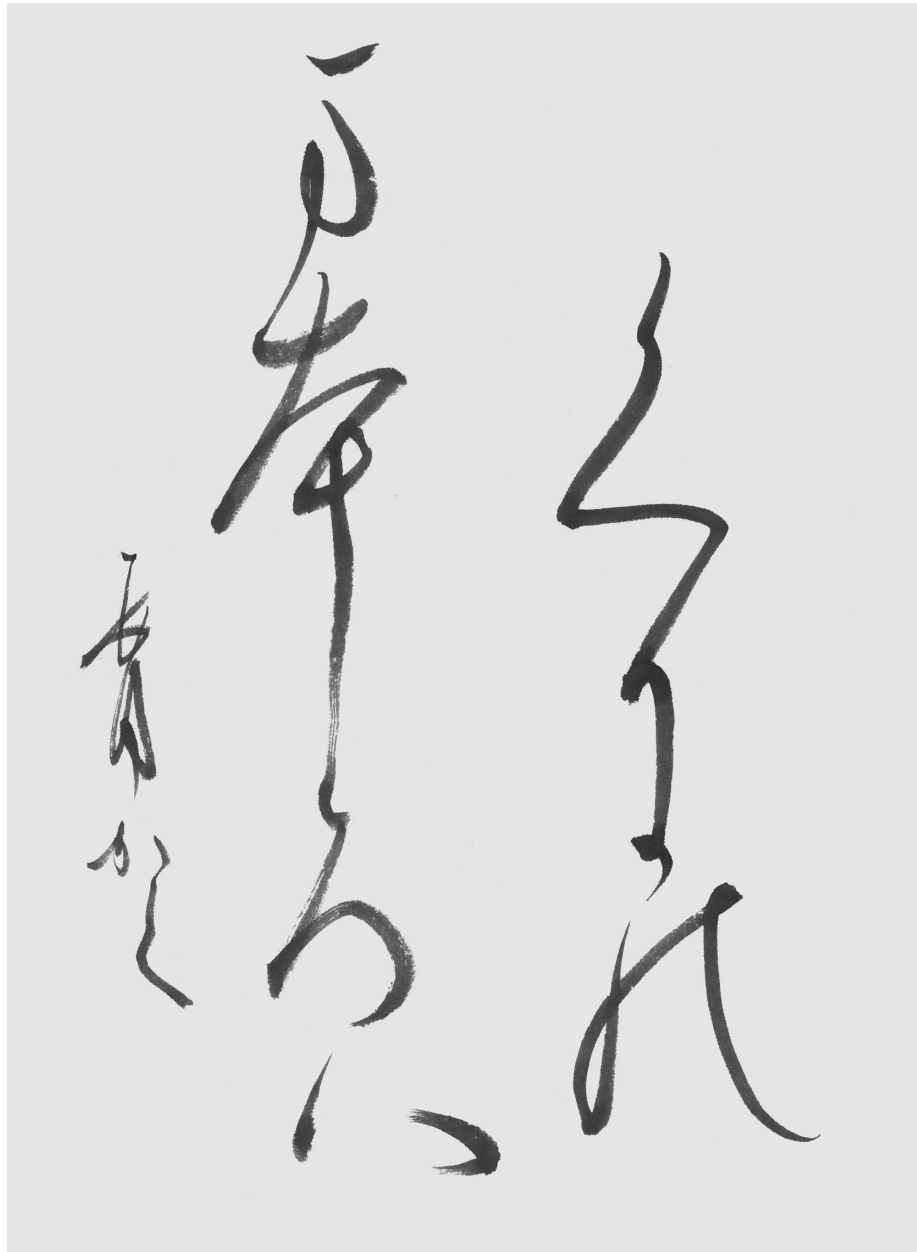
〈学習上の留意点〉

「當」：二・三画目の点の大きさと方向に注意が必要です。連続性が強いので行書のような筆意で書きましょう。四画目は図示したように収筆では強く押し上げて大きさを表現しましょう。下部の「口・田」は異体で書かれています。筆順に注意して下さい。

「春」：三本の横画の画間が狭く緊密に書かれています。次の左払いが字形全体を支えていると言えます。伸びやかに長く、しかも収筆をたっぷり豊かに払いましょう。右払いは全体的には短いようですが、収筆の払いの部分をやつたりと十分長めに運筆し、左払いと呼応させましょう。「日」はやや小振りに収めています。

高・大・一般 仮名入門

辻 眞智子



〈釈文〉くにのまほろば
 〈出典〉古事記
 〈歌意〉国々の中で一番すばらしい国だ。

く 尔
 元永本古今集

く
 卷子本古今集

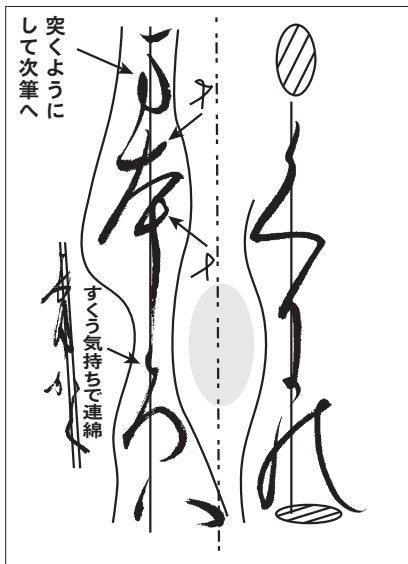
能
 元永本古今集

万
 元永本古今集

本
 元永本古今集

ろ
 元永本古今集

ハ
 元永本古今集



※提出作品は、滲みの少ない半紙を縦に使用。

今月の学び

- ・ 今月から「古事記」(現存する日本最古の書物・奈良時代初期の編纂)より倭建命の国思歌「倭は 国の真秀ろば 豊なづく 青垣山隠(籠)れる 倭しうるはし」を、四回にわたり学んでまいります。
- ・ 「国の真秀ろば」に取り組む。
- ・ 「元永本古今集」と出来るだけ同系統の古典から、課題語句を集字する。
- ・ 先月同様に、構成は一行目行頭を低めに、二行目を高く布置する。
- ・ 「尔」の中心を心もち右に寄せる。
- ・ 「万」を小さめに、「本」をやや大きく長めに書き、「八」の中心を大きく右に寄せる。
- ・ 行間と余白の広さに留意する。